

# SDX 407-2

EARTH DRILL

- カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は販売仕様と一部異なることがあります。  
また、一部写真は合成のため実際とは若干異なります。
- 掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。  
機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けて下さい。

- 掲載写真の色は印刷の関係上、実物と異なる場合があります。
- 本機の使用にあたっては取扱説明書を必ずお読みください。
- 本機の運転には「車両系建設機械(基礎工専用)運転技能講習」の技能講習修了証の取得が必要です。
- つり上げ荷重5トン以上の移動式クレーンの運転には「移動式クレーン運転免許証」の取得が必要です。

本カタログにおいて“住友重機械建機クレーン株式会社”を“HSC”と表記しています。また、“HSC CRANES”は、“住友重機械建機クレーン株式会社”の登録商標・サービスマークです。

お問い合わせは…

**住友重機械建機クレーン株式会社**

<http://www.hsc-cranes.com> 本社：東京都台東区東上野6-9-3  
Tel:03-3845-1396 Fax:03-3845-1394

2011 ©05H.JA232



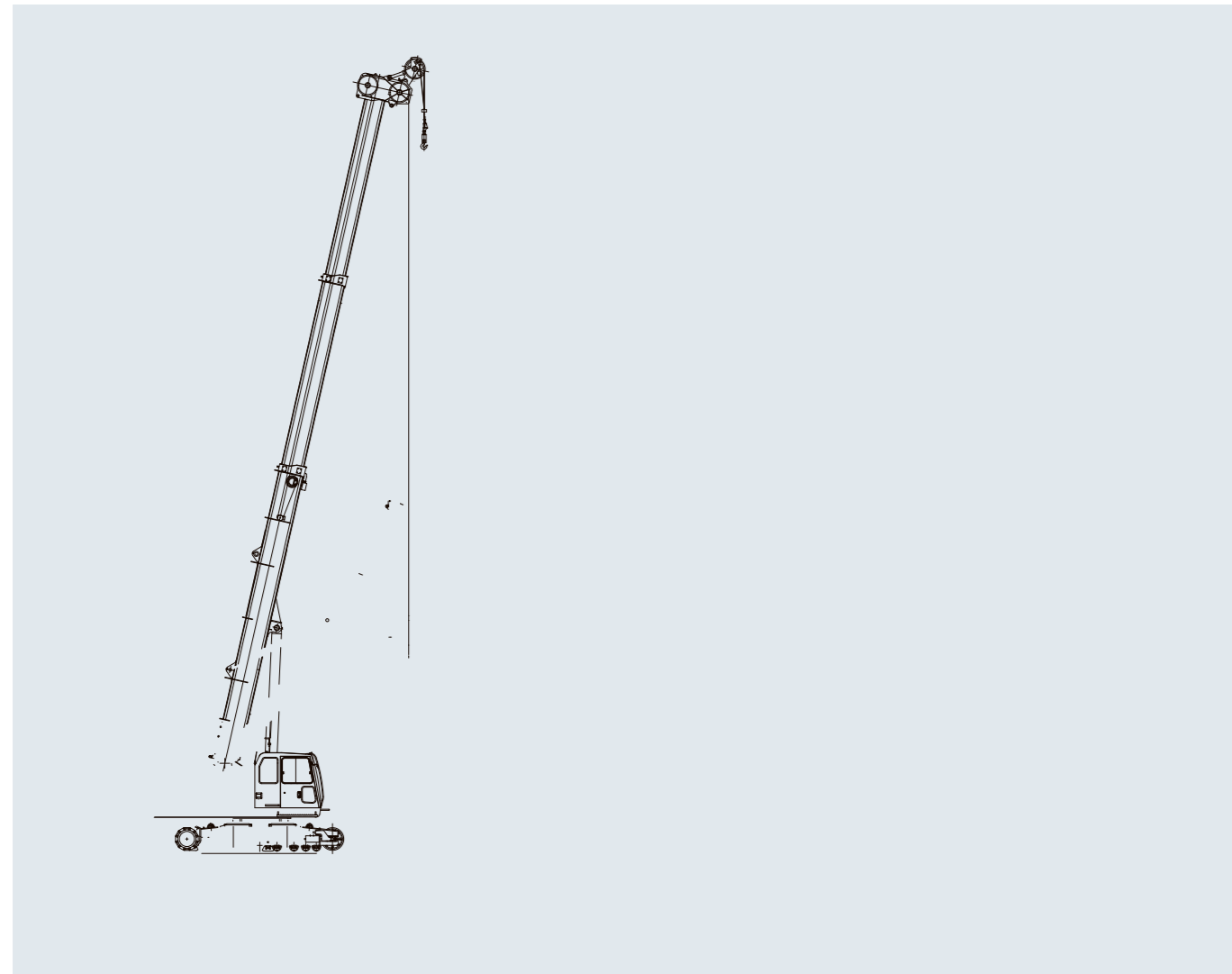






# 拡底仕様

## ■寸法図



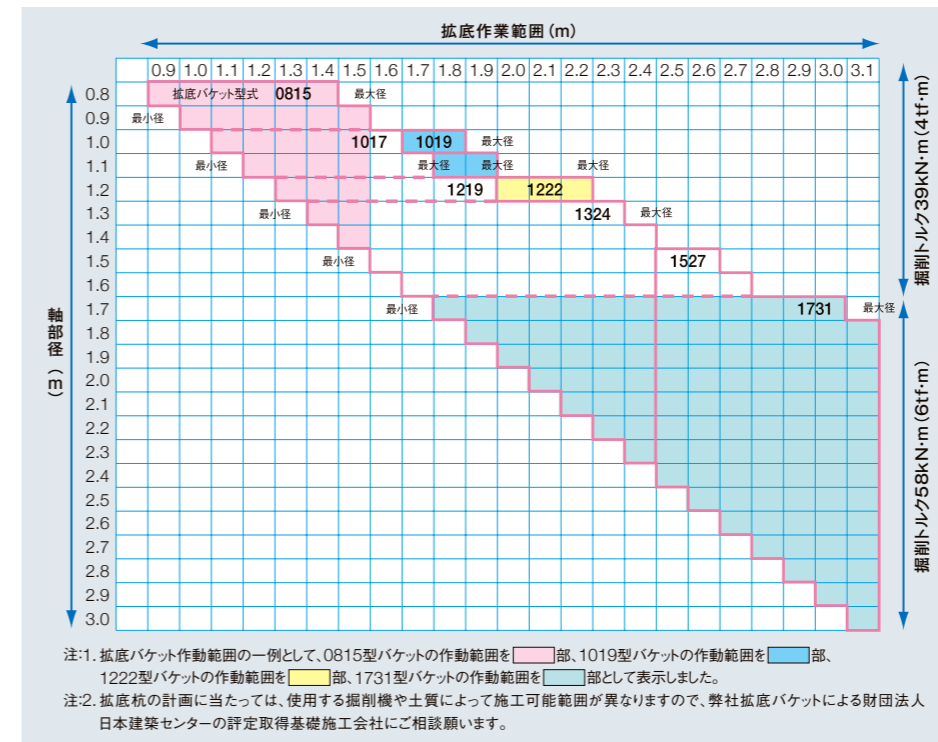
単位:mm

## ■主要仕様(SDX407-2)

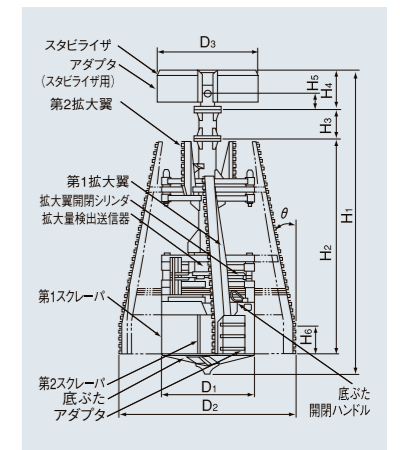
	69kN(7tf・m)標準トルク仕様	88kN(9tf・m)トルクアップ仕様
フロント形式	箱型3段伸縮ブーム	
ブーム長さ	21.0~10.5	
ケリーバ長さ(標準)	15.6×4段	
ケリーバ先端角サイズ	140	160
最大掘削深度(ケリーピン位置)	48.5	
最大掘削径	軸掘りバケット 一般土質	2600
	拡底バケット (ACE1731バケット装着時)	3100
掘削トルク	69/39 (7/4)	88/69/39 (9/7/4)
最大補助能力	13.0	
バケット回転数	21/10.5 (21/10.5)	
ケリーバ巻上/下速度	62	
補助作業巻上/下速度	62	
旋回速度	3.5 (3.5)	
走行速度	1.9/1.5	
スラストストローク	560	
スラスト作用力	98.1 (10)	
エンジン	型式	いすゞ 4HK1X
	定格出力	147/2100 (200/2100)
全装備質量	68.6	
平均接地圧	100 (1.02)	

注: 1.本表の単位は国際単位系によるSI単位表示。( )内は従来の単位表示を併記したものです。 2.作業速度はブーム角度、負荷により変化します。  
 3.補助能力とは、アースドリル施工時のスタンドパイプ、鉄筋カゴ、トレミー管等のつり込み作業時のつり能力を示します。 4.アースドリル仕様機を補助つり含めクレーン作業に使用するには、クレーン検査の取得が必要です。  
 5.全装備質量および平均接地圧の条件は以下の通りです。ケリーバ、ホースリール付、ただしバケットを除く。 6.最大掘削径は土質、地盤等の状況により変化します。  
 7.拡底バケット(ACE工法)装着時の掘削径は「■拡底バケット作業範囲図」を参照ください。

## ■拡底バケット作業範囲図



## ■拡底バケット寸法図



## ■拡底バケット寸法図

拡底バケット型式		0815	1017	1019	1219	1222	1324	1527	1731	
D1:バケット胴径*1	mm	720(880)	900	900	1080	1080	1180(1340)	1380(1540)	1580(1740)	
D2:最大拡底径*1	mm	1400(1500)	1600(1700)	1800(1900)	1920	2200	2300(2400)	2600(2700)	3000(3100)	
D3:最小スタビライザ径*1,*2	mm	770(870)	970(1070)	970(1070)	1170	1170	1270(1370)	1470(1570)	1670(1770)	
H1:全高	mm	3440	3450	3850	3490	4190	4040	4070	5500	
H2:バケット高さ	mm	2110	2110	2950	2325	3255	3100	3100	3750	
H3:ジョイント高さ	mm	310	310	0	0	0	0	0	700 *5	
H4:スタビライザ高さ*3	mm	830	830	680	920	680	680	680	680	
H5:ケリージョイント高さ	mm	710	710	290	800	290	290	290	290	
H6:拡底翼垂直部高さ	mm	500	500	500	500	500	500	500	500	
θ:拡底翼傾斜角	度	12	12	12	12	12	12	12	12	
スタンド質量	kg	370	340	340	310	310	390	400	450	
質量*1,*4	39kN・m(4tf・m)用	kg	2000(2230)	2300(2460)	3240(3410)	3290	4560	4680(5000)	5060(5470)	—
	59kN・m(6tf・m)用	kg	—	—	—	—	—	—	—	7100(7580)
	98N・m(10tf・m)用	kg	—	—	—	—	—	—	—	7220(7700)

\*1. ( )内は、アダプタを装着したときの値を示します。 \*2. 軸径に合わせてスタビライザを付け替える必要があります。 \*3. 39kN・m用バケットの1019型、1222型、1324型、1527型バケットは、ケリーバ取付ボスがスタビライザのドラムの中にかかります。59kN・mおよび98kN・m用の1731型バケットは、ケリーバ取付ボスがスタビライザのドラムの中にかかります。  
 \*4. スタビライザおよびスタンドの質量を含みます。 \*5. 1731型バケット使用時はジョイントを外してください。

## ■拡底仕様/補助つり作業定格総荷重表

最大補助能力13t

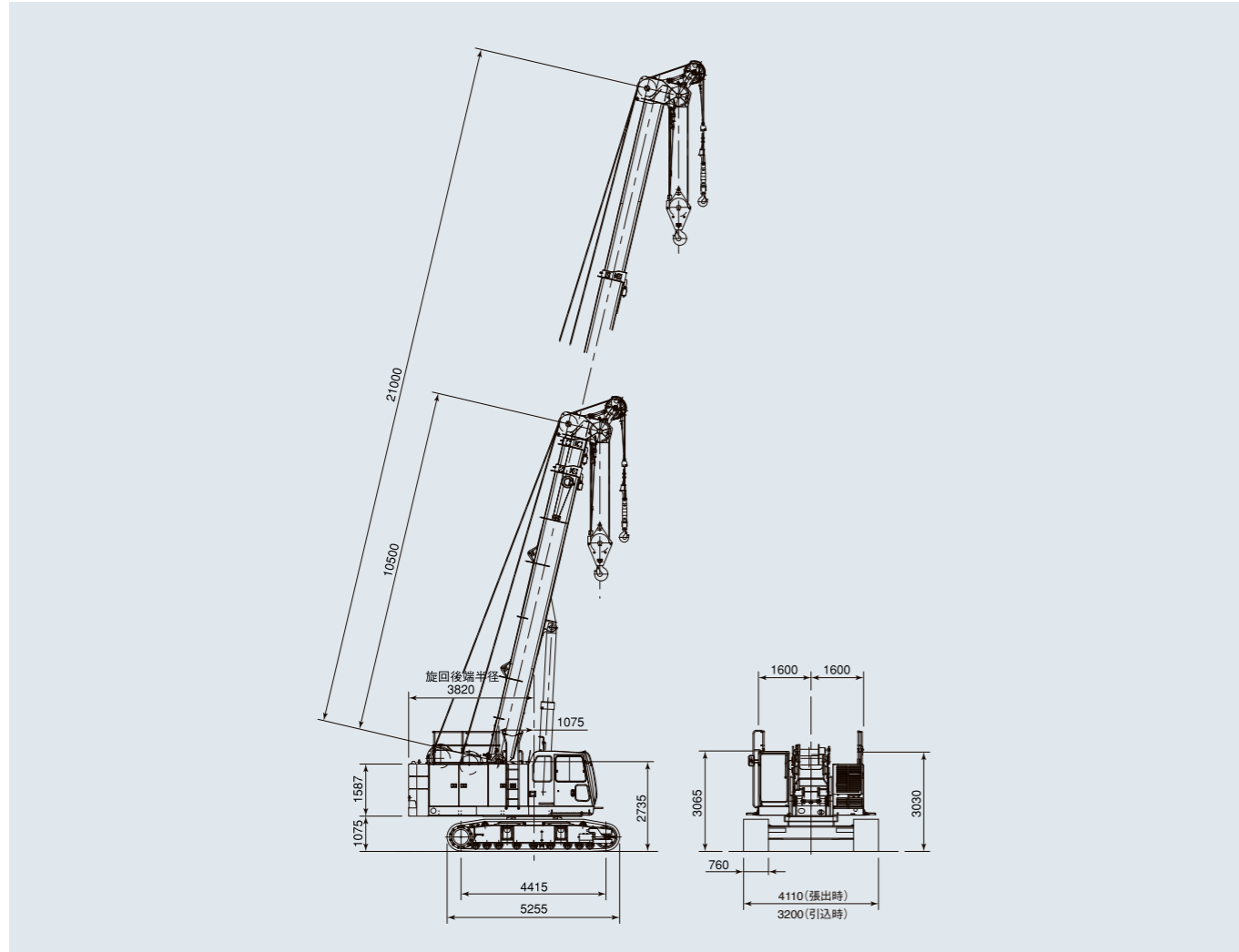
作業半径(m)	21.0mブーム	
	ケリーバ無(t)	ケリーバ有(t)
5.0	13.0	13.0
5.4	13.0	13.0
5.5	13.0	12.7
6.0	13.0	11.2
6.5	12.2	9.9
7.0	11.0	8.7
7.5	10.2	7.8
8.0	9.2	6.9
9.0	7.8	5.5
10.0	6.7	4.3
11.0	5.8	3.4
12.0	5.0	2.6
13.0	4.3	1.9
14.0	3.7	1.3
15.0	3.3	—
16.0	2.9	—
17.0	2.4	—
17.4	2.3	—

注: 1.本表に示す定格総荷重は水平堅土上における値で、転倒荷重の78%以内であり、同時に移動式クレーン構造規格で定める前方安定度の双方を満足する値です。  
 2.定格荷重性能は、上記の値から「移動式クレーン明細書」に記載してあるフック質量(補フック)を差し引いた値です。ただし上表により算出した定格荷重性能が「使用フックの容量」を超える場合は、「使用フックの容量」を定格荷重性能の値とします。  
 3.作業を行う場合には、必ずクローラを拡張してください。  
 4.補助作業を行う場合にはロータリテーブルを最下限にし、フロントフレームをブーム側へ引き寄せて下さい。  
 5.ケリーバ長さは15.6m、カウンタウエイは11tです。

# クレーン仕様

## ■寸法図

単位:mm



## ■主要仕様(SDX407-2)

最大つり上げ荷重	t×m	40×4.0
ブーム形式		箱型3段伸縮ブーム
ブーム長さ	m	21.0~10.5
ロープ速度(フロント/リヤ)	m/min	62
旋回速度	min <sup>-1</sup> (rpm)	3.5(3.5)
走行速度	m/s (km/h)	1.9(1.5)
エンジン	型式	いすゞ 4HK1X
	定格出力 kW/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)	147/2100 (200/2100)
登坂能力	%	30
平均接地圧	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	78.5 (0.80)
全装備質量	t	54.0

注: 1.本表の単位は国際単位系によるSI単位表示、( )内は従来の単位表示を併記したものです。 2.作業速度はブーム角度、負荷により変化します。  
3.全装備質量および平均接地圧の条件は以下の通りです。40tフック付

## ■主ブーム定格総荷重表

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				
	10.50 荷重(t)	13.125 荷重(t)	15.75 荷重(t)	18.375 荷重(t)	21.0 荷重(t)
2.0	40.0				
2.5	40.0	32.0			
3.0	40.0	32.0	23.5		
3.5	40.0	32.0	23.5	20.0	
4.0	40.0	30.6	23.5	20.0	17.0
4.5	36.5	28.8	22.0	20.0	17.0
5.0	30.5	27.0	20.3	18.3	15.3
6.0	22.7	22.7	17.6	15.5	13.1
7.0	17.8	17.8	15.6	13.4	11.4
8.0	14.5	14.5	13.9	11.7	10.1
9.0	13.6/8.3	12.2	12.2	10.4	8.9
10.0		10.4	10.4	9.3	7.9
11.0		9.4/10.6	9.0	8.5	7.1
12.0			7.8	7.7	6.4
13.0			7.0/12.9	6.9	5.8
14.0				6.2	5.3
15.0				5.5	4.9
16.0				5.4/15.1	4.5
17.0					4.1
17.4					4.0
ロープ掛数	4	3	3	2	2

注: 1.本表に示す定格総荷重は水平堅土上における値で、転倒荷重の78%以内であり、同時に移動式クレーン構造規格で定める前方安定度の双方を満足する値です。  
2.定格荷重性能は、上記の値から「移動式クレーン明細書」に記載してあるフック質量(捕フック)を差し引いた値です。ただし上表により算出した定格荷重性能が「使用フックの容量」を超える場合は、「使用フックの容量」を定格荷重性能の値とします。  
3. □で示された定格総荷重は構造物の強度により制限される値です。  
4. 作業を行う場合には、必ずクローラを拡張してください。



## 分解時の質量と外形寸法

- ・輸送に関しては、関係法規を順守してください。
- ・質量は1ユニットあたりの質量を示しています。

品名	個数	外形寸法(mm)	質量(kg)
本体	1		31500
サブフレーム ブーム フロントフレーム (架台、枕木含まず)	1		15000
ロータリテーブル	1		2800
カウンタウイト (A)	1		6800

ハウス上面ハンドレール付の場合は、本体質量が125kg増加します。キャットウォーク付の場合は、本体質量が185kg、上部旋回体幅が190mm増加します。

## 分解時の質量と外形寸法

品名	個数	外形寸法(mm)	質量(kg)
カウンタウイト (B)	2		2100
ホースリール	1		2900
15.6m ケリーバ	1	<p>※( )は88kN・m(9tf・m)トルクアップ仕様</p>	4800
40tフック	1		600
13t軽量フック	1		120